

アジア太平洋戦争と戦後80年

— 記憶・表象・遺産の継承から考える —

2025

9/7日

開始 13:00 (12:30 ~ 受付開始)

2025年、アジア太平洋戦争の終結から80年が経過します。戦争を知る機会が少なくなる一方で、世界では今なお紛争が続いています。戦争の実相を後世へどのように伝えていくべきか、この問いに対する答えを探る講演会を開催します。

記憶・表象・遺産に焦点を当て、戦争の継承とその意義について議論する機会となります。ぜひご参加ください。

島根大学松江キャンパス
教養2号館 604 教室

**入場
無料**

● 講演

戦艦「大和」表象と戦争展示

林 美和 先生 呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)・副館長/歴史学



戦勝国の戦争記憶：ソ連の場合

前田しほ 法文学部・准教授/ロシア文学・文化



戦争遺跡の調査研究・保存活用とその意義

岩本 崇 法文学部・准教授/考古学



主催：島根大学法文学部山陰研究センター
後援：島根考古学会、島根史学会、戦後史会議・松江、朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、日本経済新聞社松江支局、山陰中央新報社、新日本海新聞社、中国新聞社、山陰ケーブルビジョン



※構内駐車場は限りがございますので、近隣の有料駐車場または公共機関をご利用いただきますようお願いいたします。近隣の店舗駐車場等への無断駐車は固くお断りいたします。

● ディスカッション